



かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議



おかげで十回のアルミ缶回収で得た収益金で、今年も車いすを買えました。そして、地域の老人保健施設「シルバーポータルふれあいの家」に贈ることができました。車いすを喜んでくださったお年寄りの笑顔に、子どもたちは、充実感と達成感を得ることができました。

下羽栗小学校長

関谷全昭

アルミ缶回収は、昨年までの三年生もやってきたことです。まずは、自分の家のアルミ缶を集めました。でも四十六人で少なくて…。それに、一・二年生の子の家にもアルミ缶があつて困っているという意見もあり、全校に協力を呼びかけることになりました。さらに、地域のかたがたにも協力をお願いすることになりました。手紙を書き、缶をもらってきました。地域のかたの中には、そんな子どもたちに温かい励ましの言葉をかけてくださったかたもあつたと聞きます。



まだまだ自分のことだけでなく手一杯な子どもたちが、周りに目を向けることができました。これも、家族や地域のかたがたの支えがあつてのことでした。今後も『環境ちよボラ』を続けられるといいと思っています。

アルミ缶回収で車いすを贈ったよ！ 『環境ちよボラ』をしよう！

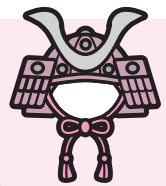
これは、本校三年生の合い言葉です。総合的な学習の時間のテーマは『環境』です。環境のために良いことを、ちよっとだけでもいいからボランティアしようということです。

まず始めに、学校の周りを見ず歩きました。すると、誰からともなくゴミ拾いが始まりました。学校の周りをきれいにしたいという気持ちが高まり、次のような活動をするようになりました。

- ・ゴミ拾いをしよう。
- ・リサイクルをしよう。
- ・アルミ缶回収をしよう。
- ・花を育てて、周りに飾ろう。



その他、トンボ池周辺のゴミ拾いもしました。地域のかたに教えてもらつて、環境にやさしい廃油石けんを作りました。また、牛乳パックを再利用したはがき作りもしました。



教育委員会だより

教育電話相談

悩んだら気楽に
電話してください！
郡四町教育委員会
☎245・1133

『広告チラシの裏を使った勉強会』

新学期が始まつて一カ月。子どもたちは、明るく元気に学校生活を送っていることでしょう。しかしそんな中で、心配ごとも少しずつ生まれてきているかもしれませぬ。

以前、小学生の子どもをもつ、ある親しい友人からこんな話を聞きました。

久しぶりに早く仕事が終わつて帰宅すると、テーブルの上に小学校五年生になる息子の算数のテストが置いてあつた。やはり一番最初に目がいくのは点数だった。五十五点。この点数をどう見るかは人それぞれである。もっとできるであろうと思つていた私は、すぐさま息子を呼び付け、叱責の言葉を浴びせてしまった。

「学校の授業は、分かっていると言つていたじゃないか。」「宿題もちゃんとやっているよ。」

息子はただうつむくばかり。でも、答案用紙をよく見ると、間違えた問題には何度も書いては消したあとが残つ

ていた。次の日、息子と一緒に算数の教科書を見ながら間違えた問題を解いてみた。意外と難しい。広告チラシの裏を使つて図を書いたり数直線を書いたりして何とか問題を解くことができた。

一緒に考え、一緒に悩む中で、学校の授業のこと、友だちのこと、先生のことなどいろいろな話を聞くことができ、本当によかつた。「テスト、またがんばれよ」と励ますと、息子は「うん」とうれしそうにうなずいた。

裏が白い広告チラシを見ると、この話を思い出します。励ましの言葉とともに、時には子どもと一緒に勉強するのもいいものです。

お子さんの家庭生活や学校生活、友達関係など、些細なことでも心配ごとのある場合は、お気軽にご相談ください。羽島郡四町教育委員会では、電話での教育相談も行っていきます。是非ご利用ください。